

特記仕様書

第1 総則

- 1 本仕様書は、上尾市消防本部(以下「発注者」という。)が令和7年度に購入する「水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型」(以下「車両」という。)の仕様について、必要な事項を定めるものとする。
- 2 車両は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令等を満たし、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準、その他関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものとする。
- 3 製作に使用する全ての材料は、日本産業規格に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。
- 4 製作に使用する材料及び部品は、全て新規製品又は新品とし、プラスチック類は原則、難燃性、ゴム製品については原則、耐油合成ゴムを使用すること。
- 5 受注者は、仕様の詳細について発注者と協議し、製作承認図等を発注者に提出して、承認を得てから製作に着手すること。
- 6 受注者は、本仕様書に疑義及び不明事項が生じた場合は、速やかに発注者と協議すること。
- 7 協議における発注者の補足等は、本仕様書の追補とする。
- 8 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うものとする。
- 9 受注者は、次の検査を受けること。
 - (1) 中間検査(実施時期は車両の塗装前とする。)
 - (2) 完成検査(実施時期は納車時とする。)
 - (3) その他発注者が必要と認める検査各検査日については、実施日の2週間前までに書面をもって連絡すること。
なお、各検査における指示事項や確認事項は立会人が記録し、受注者と発注者が確認のうえ書面を取り交わすものとする。
- 10 登録に要する費用のうち、リサイクル手数料、自動車重量税及び自動車賠償責任保険料(25か月)は、発注者が負担するものとし、その他の経費は全て入札金額に含めるものとする。
- 11 旧水槽付消防ポンプ自動車1台(平成22年納車、ジーエムいちはら工業株式会社製造、資機材含む)の処分(オークション含む)については、別途、発注者と協議の上、その指示を受けること。なお、一時抹消若しくは永久抹消手続きを行うときは、自動車重量税及び自動車賠償責任保険の還付及び廃車手続き、緊急自動車指定証等返納届を行うこと。廃車手続きに係る費用については受注者の負担とする。
- 12 受注者は、納入時に機器の取扱い及び保守整備について、当本部職員に対し無償で技術指導を行うこととし、その方法については発注者と協議するものとする。

第2 提出書類

1 製作承認図等

製作着手前に次の書類を2部提出し、発注者の承認を得ること。

(1) 製作工程表

- (2) 製作承認図(5面図)
- (3) 艀装設計図
- (4) 車体骨格図
- (5) ポンプ及び真空ポンプ装置図
- (6) 動力伝達図
- (7) ポンプ装置取付図
- (8) 諸元表
- (9) ポンプ配管図
- (10) 電気配線図
- (11) その他発注者の指示するもの

2 納車時提出書類

納車時に次の書類を各2部提出すること。

- (1) 完成図(5面図)
- (2) シャシ諸元表
- (3) エンジン性能表
- (4) ポンプ性能試験成績表
- (5) ポンプ装置図及び配管図
- (6) 真空試験成績表
- (7) 自動車改造計算書
- (8) 検定プレートの写し
- (9) 鑑定に合格したことを示す証票の写し
- (10) 無線局免許状の写し
- (11) 特定無線設備の技術基準適合証明写し
- (12) 自動車検査証の写し
- (13) 緊急自動車届出確認証
- (14) 各種取扱説明書
- (15) 納品内訳書
- (16) その他発注者が指示するもの

第3 保証

- 1 保証期間中は、発注者からの点検及び取扱い指導要請があった場合、受注者はこれに応ずるものとする。その際の費用については受注者の負担とすること。
- 2 保証期間及びメンテナンスの取扱いについては、次のとおりとする。
 - (1) シャシに関しては、シャシメーカーの保証期間とする。
 - (2) 艀装部分に関しては納入後1年間とするが、保障期間経過後であっても、設計不良、工作不良あるいは材料等製作上の欠陥に起因する不具合が発生した場合は、受注者の責任と負担で改修すること。
 - (3) その他特殊装備及び積載品については、各メーカーの公表した期間とする。

- (4) 保証期間を超過していても、納入した車両に故障及び不具合が発生した場合は、受注者の技術員を要請する場合がある。

第4 納入

1 納入期限 令和9年2月18日

なお、社会経済情勢の変化など、特別な理由により納期までに納品できない見込みとなった場合は、協議により納期を変更する事ができるものとする。ただし、変更に当たっては発注者の予算手続きが必要となることから、受注者からの納期の変更の申し出は、令和8年10月15日までに行うものとする。

2 納入場所 上尾市東消防署（上尾市大字上尾村537番地）

3 納入台数 1台

第5 その他

自動車登録番号は、発注者が指定する番号とする。「25-11」＊納期により変更有り

第6 シャシ

1 仕様シャシ

5. 5トン車級4ドアダブルキャビン付き消防専用シャシとする。

また、シャシは最新式とし、国土交通省が制定した自動車排出排気ガス規制、通称「ポスト新長期排出ガス規制」に適合したものを使用すること。

2 完成車主要寸法等

- | | |
|---|--|
| (1) 全 長 | 6,700mm程度 |
| (2) 全 幅 | 2,300mm程度 |
| (3) 全 高 | 3,000mm程度 |
| (4) ホイールベース | 3,260mm程度 |
| (5) 車両総重量 | 11,000kg未満 |
| (6) 総排気量 | 5,100cc以上 |
| (7) 乗車定員 | 6名(前席2名セパレート・後席4名) |
| (8) トランスミッション | オートマチック |
| (9) エンジン | ディーゼルエンジン |
| (10) 駆動方式 | 2輪駆動方式 |
| (11) ブレーキ装置 | ABS装置付 |
| (12) サイドブレーキ | パーキングブレーキ付 |
| (13) タイヤ | オールシーズンラジアルタイヤ＊アルミホイール付き
ブリヂストン製 M888 |
| (14) シャシは、必要に応じてリーフスプリング(板バネ)の強化を施すこと。 | |
| (15) 全席パワーウインドとすること。 | |
| (16) 運転席・助手席にエアバックを設けること。 | |
| (17) エアコンを取り付けること。(後部座席には別途リアクーラーを取り付けること。) | |

- (18) 集中ドアロックとすること。(キーレスエントリー×2、無×3)
- (19) バッテリーは、12V-100AH以上を2個、引出装置を取り付けること。
(オルタネーターは電装品を考慮した容量にすること。)
- (20) サブラジエーターを取り付けること。
- (21) オイルクーラーを取り付けること。
- (22) 排気ブレーキを設けること。(作動時ストップランプ点灯)
- (23) 電動リモコンミラーとすること。(助手席側は電動格納式)
- (24) LEDフォグランプを取り付けること。
- (25) LEDヘッドランプを取り付けること。
- (26) 燃料タンクは65ℓ以上のものとし、鍵付きのキャップを装着すること。
- (27) キャビン支持棒(黄色塗色)を取り付けること。
- (28) この仕様書において、指定したものの以外の装備については、シャシメーカーが公表した標準取り付け品が装備されていること。但し、発注者が不要とした装備についてはこの限りではない。

3 シャシに関する取付品及び取付装置

- (1) 次の計器を運転席周辺適所に設けること。
 - ア エンジン回転計
 - イ エンジン油温計
 - ウ エンジンアワメーター
 - エ 電圧計
 - オ 音声アラーム(ON/OFFスイッチ付き)
- (2) ドライブレコーダーを取り付けること。
- (3) カーラジオを取り付けること。
- (4) カーリアビューモニター(ルームミラー部モニター式・バックアイカメラ含む)を取り付けること。
- (5) デジタル大型時計を取り付けること。
- (6) 電動キャブチルト装置を設けること。
- (7) LEDテールランプを取り付けること。
- (8) 後退時及び左折時の音声警報装置(ON・OFFスイッチ付)を設けること。
- (9) 粉末ABC自動車用消火器(10型)を取り付けること。
- (10) キャビン内室内灯はLED灯とすること。
- (11) マップランプを助手席及び後部座席に設けること。
- (12) サイドミラー上部(助手席側)に隊長用サイドミラーを取り付けること。(すべてのミラーにメッキカバーを取り付けること。)
- (13) シャシには、次のものを付属させる。
 - ア スペアタイヤ*オールシーズンラジアルタイヤ*アルミホイール付き
ブリヂストン製 M888
 - イ タイヤチェーン(シングル式)
 - ウ 車輪止め

- エ 車両工具(アルミ製工具箱付)
- オ 予備ヒューズ
- カ フロアマットゴム製(全席)
- キ 三角停止板
- ク サンバイザー
- ケ サイドバイザー(全ドア・ステンレス製)
- コ オイルパンヒーター(コード10m付)
- サ 泥よけゴム(マッドガード)
- シ ナンバープレート枠(ステンレス製 後部はLED灯)
- ス フロントメッキグリル
- セ 牽引フック
- ソ インバーター

第7 PTO

- 1 ポンプ動力接続機構は、電磁クラッチ式とする。
- 2 接続機構は2系統とし、通常及び非常用とすること。この場合、応急用回路は独立した別回路とすること。
- 3 サイドブレーキ作動時のみPTOが接続できる構造とすること。
またPTO接続中にサイドブレーキを解除した際は、十分な警告音を発し、PTOが断絶する構造とすること。
- 4 通常用スイッチは次のとおりとすること。
 - (1) 車両の運転、乗降時の支障にならない運転席付近の位置に設けること。
 - (2) スwitchは、接続時インパネに表示されること。
 - (3) スwitch付近に「PTO」の銘板を表示すること。
- 5 PTO作動中でも排ガス浄化装置が自動再生し水ポンプを停止させ手動燃焼をする必要がない機能を備えること。

第8 ポンプ装置

1 構成

ポンプ駆動装置・水ポンプ・真空ポンプ・ポンプ回転制御装置・配管・冷却装置・計器及び水槽で構成すること。

2 ポンプ

- (1) 主ポンプは、操作性を考慮し、受注者が設計したアルミ製高圧2段バランスタービンポンプ又は同等以上とし、性能は国家検定A-2級以上とすること。なお、ポンプ装置は締切圧力2.5Mpa以上の能力を有すること。
- (2) ポンプ装置は、シャシエンジンのPTOよりユニバーサルジョイントを介し駆動され、PTOの操作は運転席に設けられたスイッチにより行うものとする。
- (3) 主ポンプは、あらゆる回転状態、吸水、落差、放水量及び圧力においても振動、発熱、異音及び漏れ

のない構造とすること。

- (4) グランド部及び軸先端部は長期メンテナンスを考慮し、2系統のグリスカップをワンコックレバー切り替え式で設ける構造とする。
- (5) 放口側に自動放口閉塞弁(オーバーフロー)を設けること。
- (6) 水ポンプの各装置は、主要部ごとに分解及び取り外しができる構造とすること。

3 真空ポンプ(無給式自動揚水装置銘板付)

- (1) 真空ポンプは編心回転式とし、無給油式とする。総排気量は1,500cc以上とする。ポンプ取り出し口を2カ所設け、真空ポンプは大量の水が混入しても支障がない構造とすること。又は同等以上とすること。
- (2) キャブ内にPTOスイッチとは別系統にてポンプ電源スイッチ(押しボタン自照式)を取り付けすること。
- (3) エンジンからポンプへの動力伝達機構は、電磁式クラッチにより動力を伝導する構造とする。
- (4) 送水時にスムーズな送水が行えるために、放口配管部に排気弁を設けること。
- (5) 自動揚水装置は、車両両側放口付近に取り付けすること。
- (6) エンジンスロットルは、左右の操作パネル付近に設けた真空作動ボタンを操作することにより自動的に回転数が上昇し、揚水完了後にアイドル状態に戻る構造とする。
- (7) 独立した応急用作動回路を設けること。(非常用ボタン)
- (8) 自動揚水装置は左右に多目的液晶モニター7インチワイド型自動調光式を設け、モニター内に各ボールコック・タンク送水・吸水開閉、水の流れ、ポンプ回転計、流量計、積算計、アワーメーター(デジタル表示)、水量計(残量表示)が表示できること。真空ポンプの操作スイッチは(作動、停止、非常)の3個を左右に設けること。

ア 作動・停止の各スイッチは自照式押しボタンスイッチとする。

イ 作動ボタンは作動時に点滅する構造とすること。

ウ 真空ポンプ保護の観点から、作動ボタンを押してから30秒以内に揚水が完了しない際は安全装置を作動させ、警告音及び揚水不能を知らせる画面を表示すること。また、その時に停止ボタンを点滅させる構造とすること。

エ 水槽残量表示が1/4の際は警報ブザーが鳴り、水量が増えた場合はスイッチOFF設定した警報ブザーがON設定になる機構とする。

オ 故障が発生した場合に原因の特定を容易にするため、点検整備・故障対策の確認、ポンプ取扱説明書を液晶パネルに表示できる構造とすること。

4 ポンプ回転制御装置

- (1) ポンプスロットルは円滑にして微細な調整ができ、かつ振動等で変調しないハンドル構造とする。
- (2) ポンプスロットルは左右操作パネルのいずれにおいても、計器類を見ながら操作できる位置に取り付けすること。
- (3) PTOが未接続状態では、回転制御ができない構造とすること。

5 配管及び吸吐水・冷却装置

配管系統は・吸水配管・吐水配管・中継配管・計器配管・エゼクター配管・ドレーン及び冷却用配管で構成すること。各種配管はカチオン塗装とする。

- (1) 吸水口は呼称75mmボールコック(ストレーナー付)を車両左右のポンプ室内に各1個所設け、吸水口と中継口を兼ねた吸水中継口とする。
- (2) 放水口は車両左右各2個、呼称65mmボールコックとし、第一、第二放口に45度スィベル付き65MC、第三、第四放口にスィベル付き65MCを設けること。
- (3) 吸水中継口、放水口のボールコックは側板の内側に埋め込み式とする。
- (4) ボールコック側板部にはステンレス製化粧カバーを取付けること。
- (5) エゼクター配管はポンプ操作をしながらでも容易に確認が出来る位置に、操作バルブ及びグラスボールを側板部に3箇所設けること。
- (6) 各コックは、全て前方開きとすること。
- (7) ドレイン配管は、残水が完全に排水できるようにし、車体低部に設けるバルブには保護板を設け、左右1箇所集中ドレインワンレバー方式とすること。
- (8) 電動吸管巻取り装置(横引き式)は75mmのボールコック付きとし、確実に引出し及び巻取り可能なチェーン方式とする。車体に対して垂直方向にポンプ室後方に取り付け、車両両側から容易に引き出せロック及び解除ができる構造とし、吸管取り出し口にはステンレス製の3方向ローラー及び装置下部には補助ローラーを設けること。
- (9) 左右のポンプ室内に吸管巻取り装置用の巻取り及び引出し用のリモコンコンセント(メタルコンセント)を取り付けすること。

6 不凍液注入装置

ポンプの凍結を防止するための不凍液注入装置を左側のポンプ室内操作部付近に取り付けすること。
(ワンタッチカプラー式)

7 冷却装置

ポンプ室右側の側板に設け予備回路付のストレーナーを設けること。

8 計器類

ポンプ室左右に次の計器盤を取り付け、計器は横並びとすること。

- (1) ポンプ圧力計(耐震型)
- (2) ポンプ連成計(耐震型)
- (3) 流量計・積算流量計(液晶モニター内)
- (4) ポンプ回転計(液晶モニター内デジタル表示)
- (5) 左右計器盤上部にLED灯を取り付けること。

9 水槽

- (1) 水槽容量は1,500ℓ以上とすること。
- (2) 水槽はステンレス製又は樹脂製(消防車専用)とし、振動、衝撃等により破損、緩み等が生じないように車台に固定して設け、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とし、水槽内面は防食加工を施すこと。
- (3) 上部にはマンホール及びオーバーフローパイプを設けること。
- (4) 水槽とポンプ吸水側に呼称75mmボールコックを設け、配管には緩衝装置を設けること。
- (5) ポンプ吐水側から水槽内に送水する呼称65mmボールコックを設け、配管には緩衝装置を設けること。

- (6) 補給口は呼称65mmボールコックを左右フェンダー内にキャップ鎖付きで設けること。
- (7) 水量計は電気式水量計(液晶モニター内)及び浮子式水量計を設けること。
なお、浮子式水量計には、保護板等を設けること。
- (8) 水槽上部に点検口を設け、下部にはドレインバルブを設けること。

第9 艀装(キャビン)

1 構造(外部)

- (1) 消防章をフロントパネル中央部に取り付けること。
- (2) キャビン上部に散光式赤色警光灯を取り付けること。
- (3) フロントガラス上下部に整備用握手を取り付けること。
- (4) フロントメッキグリルを取り付けること。
- (5) フロントパネル左右に赤色点滅灯を設置すること。
- (6) フロントスポイラーを取り付けること。
- (7) フロントバンパーについて
 - ア 上面直線部はアルミ縞板張りとする。
 - イ フロントバンパー側面に、赤色点滅灯を埋込みで設置すること。
 - ウ フロントバンパー前面左右に支持点用牽引フック(ステンレス製バウシャックル3t・シャックル止め金具付き)を取り付けること。
- (8) 各ドア部分にサイドバイザー及び乗降用グリップ(ステンレス製)を設けること。
- (9) 助手席側サイドミラーに隊長席用ミラーを取付けること。(すべてのミラーにメッキカバーを取り付けること。)
- (10) ドアを開けた際に後続車に注意を促すテープLED(青色)及び反射テープを全ドアに設けること。
- (11) 後席乗降用ステップは2段とし、アルミ縞板カバーを取付け、後部と一体となるよう張り出して取り付けること。
- (12) 各種ステップ、外板部で損傷の恐れのある部分は、全てアルミ縞板若しくはプロテクター等で保護すること。(前扉フェンダー・踏み込み・蹴り込み部、後扉踏み込み・蹴り込み部)
- (13) 運転席・助手席のサイドステップ下にスラップスカートを取り付けること。
- (14) 左右ステップ後方にはボックスを扉付きで設けること。
- (15) バッテリーボックスは扉付きとし、引出装置を取り付け、上面にアルミ縞板製保護カバーを設けること。

2 構造(内部)

- (1) 運転席と助手席の中央に電子サイレンアンプ、消防無線機、集中操作スイッチ、ヒューズボックス(表示付き)、地図等を収納できるセンターコンソールボックスを取り付け、電装品スイッチー式は運転席から容易に操作が行える位置・構造とすること。
- (2) 電子サイレンアンプマイクは、センターコンソール、後部座席用、ポンプ室左右の無線機車外通話用受話ボックス付近に設置すること。

- (3) 電動サイレンを取付け、スイッチはセンターコンソールボックスに手動式スイッチを設けること。なお、散光式赤色警光灯が点灯しているときのみ、電動サイレンが作動するものとする。
- (4) 室内LED灯を3式設置すること。(ON/OFF/ドア連動スイッチ付き)
- (5) マップランプ(LED)を助手席、後席左右に設置すること。
- (6) 全席シートに難燃製のカラーシートカバー(黒・青)を取り付けること。
- (7) 全ドアにLEDステップランプを設置すること。
- (8) バックブザーのON・OFFスイッチを設置すること。
- (9) 駐車ブレーキが確実に作動していない場合に運転席ドアを開放すると、警報音を発すること。
- (10) 各装置の電装用スイッチパネルを操作のしやすい位置に設けること。
- (11) 各スイッチ類は全て名称を付けること。
- (12) バックミラーはモニター式とし、バックアイカメラを車両後部に設置すること。なお、モニターは常時確認でき、夜間で視認可能であること。
- (13) 後部座席前方に手摺り(ステンレス製)及び誘導棒ホルダーを設け、チューブ入りS字フックを6個設けること。
- (14) 地図等を収納することができるボックスを設けること。
- (15) 天井部中央及び後部に底面パンチング材の収納棚を設置すること。間口は落下防止措置を施し、棚板前側は、落下防止用立ち上げ加工し取付けること。
- (16) 後部座席を前方へ移設し、機材ボックスを設け、上面はステンレス貼り、内部底面は厚手ラバーマットを設けること。
- (17) 空気呼吸器取り付け装置を4基設け(マジックベルト式)、後面に全面パンチングメタル材を施し、キャブ後方フック移動式×5及び二段折り畳み式×4を設置すること。
- (18) 後部座席はシートバックを短縮し、下部収納庫(サイド扉無)を設け、シート座面を前方へ展開できるようにすること。

3 電装関係

- (1) 各電装品のヒューズボックスを点検しやすい位置に増設し表示すること。
- (2) 各配線及び電装品の端子等は、燃料配管及びブレーキ配管との接触を避け、整然と敷設固定し、振動及び接触により短絡しない構造とすること。
- (3) 熱の影響を受ける部分については、耐熱性ケーブルの使用及び遮熱板の取り付け等の処理を施すこと。

第10 車体の構造

1 ボディ艤装

車両の構造及び艤装は以下のとおりとする。

- (1) 艤装は総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- (2) 車両の重要な点検箇所及び主要部品の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口を設けること。
- (3) ボディ形状は箱型ボディとし、側面に各1～2枚のシャッター(OS手動シャッター33B型)、後部はホースカー上部に上開き扉を設けること。

- (4) 各シャッター及び扉内側にベルト付き引き紐を取り付けること。なお、シャッター巻取り装置の底面にアルミ縞板を施工すること。
- (5) シャッター内及びボックス内には開閉連動式の照明(LEDテープ式ライト)をシャッター枠より内部に照射させ設けること。(別途指示)
- (6) 収納庫内に収納棚(固定、可動、引き出し式等アルミ製)を設け、積載品に応じた収納が出来る構造とすること。
- (7) 車体上部に吸水管、薬液缶、資機材(収納ケース含む)等が収納できる大型のアルミ製ボックスを1式設け、蓋は開放連動式の照明(LEDテープ式ライト)、ダンパーを取り付けること。
なお、吸水管は出入れしやすいように、滑りやすく強度のある収納ケースに2本ずつ収めること。
- (8) 車体下部に資機材収納ボックスを設ける場合は、一体型の展開式の収納ボックスを設け、展開式扉はチェーンレスのステップとして使用できる構造とし、ステップ部はアルミ縞板とする。ステップ3方向にLEDテープ式ライトを貼付けすること。
- (9) 各ステップ扉は面取りを施し、開放時に全てのステップがフラットになるようにすること。
- (10) 後部ホースカー収納庫の背面は収納庫を設けること。
- (11) 各収納ボックス内に樹脂製スノコを設けること。
- (12) ボックス等は防水構造とし、水抜きドレインを設けること。
- (13) 各ボックスは、扉を開いた状態で車体と接触する箇所は緩衝用ゴムを取り付けること。
- (14) 各棚板には転落防止用のマジックテープタイプのベルトを必要数設けること。
- (15) 左右ポンプ室側面の上部に収納庫を上開き式扉で設け、下面に取手を設けること。
- (16) ポンプ室上部に点検が容易に出来るように点検口(防水式)を設けること。
- (17) ボディ天井部踏み面はアルミ縞板張りとする。
- (18) ボディ天井部左右は嵩上げ加工を施し、標識灯、赤色点滅灯及び作業灯を埋込式にて設置すること。
- (19) かぎ付き梯子積載装置を取り付けること。

2 その他

- (1) 車体取り付け品は落下防止のため2重ロック構造とする。
- (2) 車体上部に支点フック(ステンレス製)を8箇所取り付けすること。
- (3) ポンプ室左右の側板に足掛け折畳み式又は展開式はしごを設けること。
- (4) 車両後部に固定式又は展開式の昇降用はしご(ステンレス製)を設けること。
- (5) 左右後部に、アルミ縞板の昇降ステップを設けること。
- (6) 各種、装備品の取り付け等は発注者と別途協議すること。
- (7) 給油口は安全容易に給油できる位置に設けること。なお給油タンク底部には乗り上げ等で損傷しないような措置を施すこと。

3 照明装置(サーチライト)

- (1) 発注者の指示する場所に拡散型LEDサーチライトを2式設置すること。
- (2) サーチライトは上下伸縮式とし、固定用のロックネジを設けること。
- (3) スイッチは個別に設け保護枠付きで防水構造であること。

4 投光器(可搬式投光器一式)

- (1) 電 球 ヤマハE028高機能モデル(三脚、収納袋付き)
- (2) 配 線 ケブラーケーブル30m(抜け止め防止付き)
- (3) 発動発電機 ヤマハEF900is

各種スイッチ・計器類は夜間操作が容易に確認出来るようにLED灯を設け、名称を記入すること。

5 電動油圧昇降装置

- (1) 車両後部はホース延長用資機材「ホースカー」を積載すること。なお、油圧昇降装置にて安全に積み降ろしできる構造とすること。
- (2) キャブ内インパネ付近に未収納確認灯(赤点灯)を取り付けること。
- (3) 夜間操作時に必要なLED作業灯及びスイッチを設置すること。

6 ホースカー(TSアルミ製)

- (1) 加納式ホースカーで、65mmホースを8本程度積載出来ること。
- (2) 管鎗、媒介及び分岐管等の積載金具を取り付けること。
- (3) ホースカー内側に防水シートを取り付けること。
- (4) 耐パンク性能の向上を図るため、タイヤにパンク防止剤を封入すること。
- (5) 車両格納時に後続車両に注意喚起できるよう、底面に反射材を取り付けること。
- (6) タイヤホイールはシルバー色とする。

7 梯子昇降装置

- (1) 車体上部に梯子昇降装置を積載すること。
- (2) 地上より操作が可能な梯子昇降装置(バランスダンパー式)とすること。
- (3) 操作しやすい位置まで容易に昇降できる構造とすること。
- (4) 三連梯子、とび口2本を積載すること。
- (5) キャブ内にロック確認灯を設けること。

8 その他・灯火

- (1) 車両後部の左右に側方灯(LED式)を埋込式で取り付けること。
- (2) 後部フェンダー部の左右に路肩灯(LED式)を取り付けること。(スモールランプ連動)
- (3) コンビネーションランプはLED式とする。

第11 無線装置(消防無線電話装置・AVM装置)

- 1 消防無線電話装置本体を発注者が指定する場所へ取付けること。(消防無線電話装置本体は、現車両の装備品を載せ換え取り付けるものとする。)
- 2 センターコンソール部適当な位置に、AVM装置を取り付けすること。(AVM装置は、現車両の装備品を載せ換え取り付けるものとする。)
- 3 前・後部車室・左右ポンプ側面に、無線送受話器取付けスペースを設けて、キャブ内無線機との間に配線ケーブルを引き込みすること。(アンテナ・AVM外部設定器制御ケーブル・車外通話装置は新規とする。)
- 4 キャビン内にスピーカー(角型×2・インピーダンス8Ω)を埋込み式で取り付けること。
- 5 車外用スピーカーは側板内に埋込み式とし、ステンレス製パンチング板を取り付けること。
- 6 キャブ上部中央に無線機・AVM用アンテナを取り付け、接触等に耐えられるよう取付け部は屈折する

こと。

第12 塗装・表示

1 塗装

車両は錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、十分乾燥させたのち朱色ウレタン塗装により3回以上の塗装を施し、磨き出し鏡面仕上げとする。

- (1) アルミシャッター部(側面左右各1～2枚)朱色塗装(車体と同色)とすること。
- (2) アルミ縞板部は無塗装とすること。
- (3) 車体下回りは黒色塗装とし、防錆の為アンダーコーティング塗装を行うこと。
- (4) 各ボックス内はオリエンタルグリーン色とし、防錆のためアンダーコーティング塗装を行うこと。
- (5) 各種配管は法定塗色とすること。
- (6) その他、別途指示とする。

2 表示

記入文字については、次のとおりとする。*文字の大きさは別途協議すること。

- (1) 車体文字:「上尾市消防本部」、「AGEO CITY FIRE DEPT.」
マーク:「上尾市消防本部エンブレム」
位置:キャブ両側後部ドア(左右) エンブレム(運転席・助手席)
書体・文字色:丸ゴシック体(反射白色文字)
書き方:左書き
- (2) 車体文字:「上尾東1」
位置:キャブ全面フロントガラス下部左側
書体・文字色:丸ゴシック体(反射白色文字)
- (3) 車体文字:「東1」
位置:ボディ後部左側
書体・文字色:丸ゴシック体(白色文字)
- (4) 車体文字:「上尾市消防本部」、「AGEO CITY FIRE DEPT.」
位置:ボディ後部開閉扉 2段書き
書体・文字色:丸ゴシック体(反射白色文字)
- (5) 車体文字:「上尾東1」
位置:キャブ屋根上 2段書き
書体・文字色:丸ゴシック体(反射白色文字)
- (6) 車体文字:「東1」
位置:標識灯(白色)
書体・文字色:丸ゴシック体(黒色文字)
- (7) 車体文字:「AGEO CITY FIRE DEPT.」
位置:ボディ両側アルミシャッター
書体・文字色:東消防署消防ポンプ自動車参照(反射白色文字黒縁取り)
- (8) 車体文字:「L1」「L2」「R1」「R2」

位置:ボディ両側アルミシャッター及び上開き扉

書体・文字色:丸ゴシック体(反射白色文字)

(9) 再帰性に富んだ反射材

車両前部を除く3面に赤色反射材テープを貼付すること。赤色反射材テープの大きさ及び取付位置については、発注者が別途指示する。

3 銘板

(1) スイッチ類には、名称及び「入・切」又は「ON・OFF」などの表示を取り付けること。

(2) バルブ・コック類には、銘板プレート及び開閉方向を表示すること。

第13 補足

- 1 本仕様書に定めない事項についても、工作上当然必要と思われるものについては全て行うこと。
- 2 車両及び付属品等は、全ての検査に合格したものを納入すること。また、型式等は発注時の最新型のものであること。
- 3 受注者は、製作承認後やむを得ない事情のため、仕様の変更又は疑義が生じた場合は、速やかに発注者に連絡するとともに必要な指示、承認を受けるものとする。
- 4 仕様書にあるメーカー及び型式については参考品とし、同等品以上であれば参考品以外でも可とする。ただし、その場合は、『質問書』にて発注者に確認すること。
- 5 車両登録時は、車両総重量を考慮し、可能な限り資機材を積載した状態で検査を受けること。
- 6 支払は、納品後の一括払いとする。
- 7 受注者は、発注者による納品検査に合格後、発注者へ支払請求書を提出すること。
- 8 発注者は、受注者からの支払請求書に基づき代金を支払うものとする。

【別表】

番号	品 名	数量	備 考
1	全席パワーウインド	1 式	
2	運転席・助手席エアバック	1 式	
3	エアコン	1 式	
4	リアクーラー	1 式	
5	集中ドアロック	1 式	キーレスエントリー×2、キー×3
6	バッテリー	1 式	
7	サブラジエター	1 式	
8	オイルクーラー	1 式	
9	排気ブレーキ	1 式	
10	電動格納式ミラー	1 式	
11	LEDフォグランプ	1 式	
12	LEDヘッドライト	1 式	
13	デフロック	1式	
14	燃料タンク	1個	
15	タイヤ	6 本	オールシーズンラジアルタイヤ*アルミホイール付き ブリヂストン製 M888
16	エンジン回転計	1個	
17	エンジン油温計	1個	
18	エンジンアワーメーター	1個	
19	電圧計	1個	
20	ドライブレコーダー	1個	
21	カーナビゲーション	1式	*地上デジタルチューナーは除く
22	カーラジオ	1個	AM/FM 付き
23	カーリアビューモニター	1個	

24	大型デジタル時計	1個	
25	電動キャブチルト	1式	電動油圧式
26	リアコンビネーションランプ	1式	小糸 2連タイプ レッドVer シーケンシャルターン
27	音声警報装置	1式	
28	自動車用消火器	1本	10型
29	キャビン内室内灯	3 個	大型LED式(前席1・後席2)
30	マップランプ	3 個	自在LED式
31	スペアタイヤ	1 本	オールシーズンラジアルタイヤ*アルミホイール付き ブリヂストン製 M888
32	タイヤチェーン	1式	
33	車両工具	1 式	KTC アルミ製工具箱付き
34	予備ヒューズ	1 式	
35	フロアマット	1 式	
36	三角停止板	1 個	
37	サンバイザー	2 個	
38	サイドバイザー	4 個	全ドア(ステンレス製)
39	オイルパンヒーター	1個	10mコード付き
40	泥除ゴム	4 個	
41	ナンバープレート保護枠	2 個	ステンレス製(前後)
42	フロントメッキグリル	1個	
43	牽引フック	1 個	後部標準取付位置 3.5t以上(外れ防止付き)
44	インバーター	1 個	
45	ポンプ圧力計	2 個	耐震型
46	ポンプ連成計	2 個	耐震型(真空計兼用)
47	エンジン回転計	1 個	

48	赤色警光灯	1 式	OS 製 NF-L-XKD-LC
49	電子サイレンアンプ	1 式	TSK-D1マイク付き(音声合成内蔵型)
50	照明灯	2 個	佐藤工業SP-Q28 ハンドポール付き
51	標識灯	2 個	白色 LED 左右あおり部分 (集合スイッチ内 ON/OFF スイッチ付き)
52	水量計	2 個	ポンプ室左右及び液晶モニター内表示
53	ホース延長用資機材動力昇降装置	1 式	ST 型油圧昇降装置
54	空気呼吸器	4 式	ライフゼム ACT ハーネス NM30(カバー、首掛け紐付) (6MPa 仕様)
55	空気呼吸器ボンベ	8 本	シゲマツ ブルネッカー4.7L
56	空気呼吸器取付け装置	4 個	マジックベルト式
57	電動サイレン	1 個	
58	真空計	1 個	ポンプ連成計兼用
59	ポンプ回転計	1 個	
60	流量計	2 個	
61	積算流量計	1 個	
62	不凍液注入装置	1 式	
63	車外無線送話器取出口	2 個	拡声器マイク、無線受話器
64	作業灯	6 個	OS 製 LIA-300 側面・後部取付
65	外部スピーカー	1 式	赤色警光灯に含む
66	消防専用電話装置	1 式	
67	積載はしご昇降装置	1 式	バランスダンパー式
68	圧力制御装置	1 式	7 インチ液晶モニター内
69	自動揚水装置	1 式	7 インチ液晶モニター内
70	消防章	1 個	キャビン前面
71	赤色点滅灯	10 個	LFA-100×2、LFA-300×6、LFA-50×2

72	支点用牽引フック機構	2 個	ステンレス製 バウシャックル3t(シャックル止め金具付き)バンパー部取付
73	路肩灯	2 個	LED 式 保護枠付き
74	車幅灯	2 個	LED 式
75	足元灯	4 個	各ドア LED 式
76	集合スイッチ盤	1 個	OS 製 SBW-D1
77	マイクジャック	1 個	マイク付き
78	吸管	2 組	75mm×10m ソフト吸管(らくらく45エルボ) ×1 棒吸管×1
79	吸口ストレーナー	2 個	
80	吸管ストレーナー	2 個	ストカゴセット③
81	吸管ちりよけかご	2 個	吸管ストレーナーに含む
82	吸管枕木	2 個	ゴム製ワンタッチバンド式
83	吸管ロープ	2 本	吸管ストレーナーに含む
84	消火栓媒介金具	2 個	75mm♀ネジ×65mm差込♀
85	中継用媒介金具	2 個	65mm♀ネジ×65mm差込♀
86	消火栓開閉金具	4 個	大箱回し十字型×1、日の出パール×1 消火栓キー 小型T型×2
87	吸管スパナ	2 個	
88	管そう(無反動)	2 個	ヨネ製 無反動管そうα
89	ノズル	2 個	ヨネ製 噴霧ノズル ダブコン(アタッチメント付き)
90	消火器	1 本	自動車用粉末 ABC 消火器 高性能型 MKA10
91	放口媒介金具	4 個	マルチコネクタースイベル型 65MC
92	とび口	2 本	1800mm グラスファイバー製
93	金てこ	1 本	テコボール(1200mm)
94	剣先スコップ	1 本	柄 900mm ステンレス製
95	ホースカー(加納式)	1 台	TS 製 アルミ製 65mmホース 8 本以上

96	三連梯子	1 式	チタン製 KHFL-87(横栈カバー付き)
97	車輪止め	2 組	樹脂製 (取手付き)
98	ポンプ工具	1 式	グラスボールスパナ
99	ホース(印字:R08上尾消 防)	20 本	65mm×20m New キンパイプロファイターA(1.6 MPa)
100	ホース(印字:R08上尾消 防)	2 本	65mm×10m New キンパイプロファイターA(1.6 MPa)
101	ホース(印字:R08上尾消 防)	20 本	50mm×20m New キンパイプロファイターA(1.6 MPa)
102	分岐管	2個	ヨネ製 MC 分岐ボールバルブ 65・50 スイベル
103	ホースブリッジ	1 式	コンパクトホースブリッジ 450mm(ダブル)
104	照明器具	1 式	信号機付投光器 ヤマハ E054 高機能モデル (三脚、ケブラーケーブル、収納袋付き)
105	発動発電機	1 台	ヤマハ EF900is
106	スタンドパイプ	1 個	ヨネ製 単口地上式スタンドパイプ エルボ離脱式 800mm
107	水利落下防止版	2 枚	蛍光色
108	かぎ付き梯子	1 式	チタン製 KHFL-31
109	かぎ付き梯子積載装置	1 式	
110	アルミ製収納ボックス	1 個	車体上部
111	貯水槽キー	4 個	T 型×2 L 型×2
112	ストップバルブ	4 個	TS 製 65mm×2 50mm×2
113	ストレートノズル	2 個	23mm
114	媒介金具	各 2 個	65mm♂×65mm♂、65mm♀×65mm♀ 65mm♀×50mm♂
115	媒介金具	2個	40mm♀×50mm♂
116	クーラーボックス	1 個	DAIWA 製 プロバイザーHD2100X 容量 20ℓ程 度
117	救助マット	3 枚	FS・JAPAN ファーストレスポnderマット

118	墜落制止用器具	4 個	サンコー株式会社 FR3N-BL 型
119	夜光チョッキ(反射式)	8着	FS・JAPAN メッシュベストBS2×4、BS3×4
120	防水シート	9 枚	ブルーシート#3000(厚地) 2.7m×3.6m 3 枚 ブルーシート#3000(厚地) 3.6m×5.4m 3 枚 ブルーシート#3000(厚地) 1.8m×2.7m 3 枚
121	カラーコーン	4 個	伸縮式三角コーン(専用収納ボックス付き)
122	立入禁止テープ	5 個	消防本部名入り
123	可倒式ゲート	2 個	プラスチック製(印字(黒・反射材):消防活動中)
124	隊名シール	各 50 枚	上尾東1(大・中・小) (全面及び文字のみ半々)
125	補修用塗料	1 個	朱色
126	キャブドア警告灯	4 個	OS製 LS-270
127	チェーンソー	1式	スチール社製 MS261C-M ガイドバー45cm (下肢切創防止用保護衣含む)
128	現場調査用具	1式	火災現場用靴 KS-H56
129	ラインプロポーションナー	1 個	ヨネ製 FP65/400 金具マルチ型
130	発泡ノズル	1 個	ヨネ製 FN-65LX デュアル ダブコン用
131	発泡ノズル	1 個	ヨネ製 FN-65MX デュアル ダブコン用
132	ガンタイプノズル	3 個	NM-V
133	放射温度計	1式	FLUKE62MAX+
134	有毒ガス測定器	1器	GX-9000
135	RV ボックス	2個	1000 mm×500 mm
136	ホースバック	10 個	FS・JAPAN ホースバック OFD×3 FS・JAPAN ホースバックⅡ W50-65×3 OH-1×4
137	ホース応急バンド	5 個	
138	省電力無線機	3 個	ケンウッド製 UBZ-BM20R ヘッドセット付(KHS-29F)

139	エンジンカッター	1 台	ハスクバーナーK770 Rescue
140	エンジンカッター替刃	3 枚	パンサーグローバルダイヤ・非金属(緑)・鉄鋼用(赤)
141	燃料缶	3 個	1ℓ用
142	万能斧	1 個	SD-01 型
143	救助鋏	1 個	レスキューシザー
144	のこぎり	1式	鞘付き マスター330(替刃2含む)
145	ハンマー	1 個	頭重 3.5 kg 柄 900mm
146	鉄線カッター	1 個	松阪鉄工所 ZBC-600
147	携帯警報器	4 個	モーションスカウト K-T-R
148	簡易縛帯	1 個	R-430
149	カラビナ	10 個	ステンレス O 型 安全環付 ゲート 18mm
150	スーパーカラビナ	10 個	ステンレス O 型 安全環付 ゲート 24mm
151	レンジャーロープ	2 個	東京製綱 12mm三ツ打ち M (白色)
152	資機材搬送バック	2 個	FS・JAPAN クイックアタック
153	携帯拡声器	1 個	FS・JAPAN レイニーメガホン「消防ホイッスルモデル」 名称「東」「上尾市消防本部」
154	赤色棒ライト	2 個	LED 式 信号灯
155	携行ライト(防爆型)	3 個	プロポリマー 3AA HAZーLO
156	携行ライト(防爆型)	1 個	バルカン 180F
157	デジタルカメラ	1 式	オリンパス Tシリーズ(最新型) 充電アダプター 純正ソフトケース SD カード(64G 付属)
158	ゼンリン住宅地図	各 1 冊	上尾市・伊奈町・さいたま市見沼区(最新版)
159	スケール50m	1 個	KS-H70-3
160	現場見取り図板	1 個	KS-A 型